

県内景気動向調査(2026 年 7-9 月実績、10-12 月見通し)

— 県内景気は弱含みとなっている —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:上地知朗)はこのたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

【全体概要】

2026 年 7-9 月期の県内企業の景況判断 BSI は -2.0、2 期連続で若干の「下降」超となった。観光の最繁忙期である 8 月に台風が連続して襲来し、同月の入域観光客数(速報値)が前年同月比 14.0%減と大幅に減少した。これら観光需要の機会損失や各種仕入れ価格の高騰などから、「**県内景気は弱含みとなっている**」。

2026 年 10-12 月期の景況見通し BSI は 4.7 と若干の「上昇」超の見通しとなった。県内実質賃金の前年同月比増が 1 年以上続いていることもあり、県内需要の改善が期待される。一方で、仕入れ価格高騰の要因の一つとなっている中東情勢や為替動向には依然として不透明感が続く。

【業種別概要】

■ 観光関連 [「上昇」超 台風襲来で夏場の力強さ欠く]

- 7-9 月期の景況判断 BSI は 26.0 となり、「上昇」超となった。宿泊単価が高く利用客も多い夏場の繁忙期に台風が襲来しており、BSI は「上昇」超を維持したものの、例年の繁忙期にみられるような勢いには欠ける結果となった。

■ 建設業 [2 期連続の「下降」超 資材の高止まりが利益圧迫]

- 7-9 月期の景況 BSI は -5.3 で、2 期連続の「下降」超となった。売上は持ち直しの動きがみられる一方、資材価格の高止まりが利益を圧迫している。10-12 月期は景況 11.8 と改善が見込まれ、県内需要は 27.6 と大幅な上昇が示された。

■ 卸売・小売業 [若干の「上昇」超、販売価格を上回る仕入れ価格の上昇幅]

- 7-9 月期の景況判断 BSI は 1.4 でわずかに「上昇」超となった。売上高はわずかに「上昇」超だったが、経常利益は「下降」超だった。販売価格は大きく「上昇」超だが、仕入れ価格の上昇幅はさらに大きい。

■ 飲食サービス業 [若干の「上昇」超、仕入価格高騰が重し]

- 7-9 月期の景況判断 BSI は 4.7 で若干の「上昇」超となった。一方、仕入価格 BSI は 85.7 と突出して高い水準が続いており、経常利益は -23.8 と「下降」超となっている。

■ 製造業 [「下降」超、仕入れ価格上昇で売上・利益ともに厳しく]

- 7-9 月期の景況判断 BSI は -19.0 で「下降」超。仕入れ価格は 57.1 の「上昇」超で引き続きコスト高の影響が大きく、売上 -11.9、経常利益 -16.7 とともに「下降」超となっている。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 瀬川、当銘)

〒900-0025 那覇市壺川 3-1-19 拓南第 2 ビル 1F TEL:098-987-5250

I 県内企業の景況判断 BSI

■ 実績と見通し

- 実績(2026年7-9月期)
 - 全体の景況判断 BSI(実績)は、-2.0 で若干の「下降」超
- 見通し(10-12月期)
 - 全体の景況判断 BSI(見通し)は、4.7 で「上昇」超

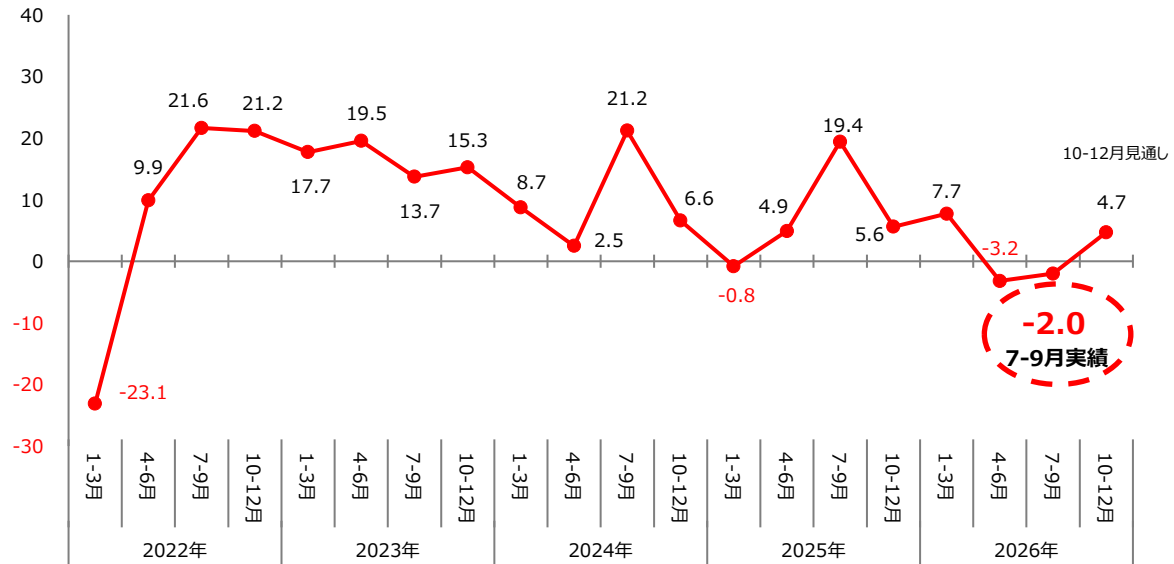
■ 主要業種別結果

- 実績(2026年7-9月期)
 - 「上昇」超は、旅行・宿泊業(26.0)、情報通信業(6.7)、飲食サービス業(4.7)、その他のサービス業(2.4)、卸売・小売業(1.4)、だった。
 - 不動産業等は 0.0 だった。
 - 「下降」超は、医療・福祉(-28.5)、製造業(-19.0)、建設業(-5.3)だった。
- 見通し(10-12月期)
 - 「上昇」超は、医療・福祉(23.8)、建設業(11.8)、製造業(4.7)、不動産業等(4.4)、卸売・小売業(4.3)だった。
 - 情報通信業と旅行・宿泊業、飲食サービス業、その他のサービス業はすべて 0.0 だった。

■ 企業の景況判断BSI（前期比「上昇」-「下降」社数構成比）

	時期	2024年		2025年				2026年				
		7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
全業種BSI		21.2	6.6	-0.8	4.9	19.4	5.6	7.7	-3.2	17.3	-2.0	4.7
	建設業	-2.9	18.2	15.4	-3.5	-1.3	4.6	15.5	-9.3	10.5	-5.3	11.8
	製造業	9.3	8.5	-34.9	0.0	27.3	10.0	-3.6	-6.4	10.6	-19.0	4.7
	情報通信業	33.3	37.5	14.3	-12.5	-4.8	12.5	6.7	-5.3	-5.3	6.7	0.0
	卸売・小売業	31.7	1.6	-5.7	4.1	20.7	1.1	5.6	-4.4	11.1	1.4	4.3
	不動産業等	14.7	18.2	34.5	23.7	16.0	10.8	22.2	7.7	17.3	0.0	4.4
	旅行・宿泊業	67.6	-17.2	31.2	28.6	66.7	7.2	3.7	-19.4	54.8	26.0	0.0
	飲食サービス業	62.5	-13.6	-9.1	-5.0	43.3	9.5	8.4	0.0	40.0	4.7	0.0
	医療・福祉	-10.5	0.0	-43.8	-23.8	10.7	-3.3	0.0	8.8	20.6	-28.5	23.8
	その他のサービス業	16.5	10.4	-9.7	8.4	16.0	3.8	7.0	1.2	16.5	2.4	0.0
資本金別	1000万円未満	23.3	0.0	-6.9	6.2	21.9	14.2	6.3	0.6	19.1	-2.4	5.4
	1000～5000万円未満	17.0	3.4	2.2	1.2	18.1	-3.8	7.8	-9.3	16.3	-7.9	2.1
	5000万～1億円未満	27.7	23.8	-2.4	19.1	17.8	3.6	-1.8	6.2	18.8	24.4	9.8
	1億円以上	21.7	32.0	13.0	0.0	19.4	29.3	29.4	-5.9	17.7	7.4	11.1
	従業員数別	10人未満	15.1	-4.1	2.0	7.3	6.6	4.9	9.0	-2.9	8.8	-8.0
10～19人		32.9	6.2	0.0	-3.2	14.8	8.6	8.2	-6.9	31.4	-7.1	2.8
20～49人		10.1	12.1	-5.1	-2.9	22.3	3.2	1.6	-0.8	18.0	6.1	5.0
50～99人		29.2	15.2	-2.3	25.0	36.0	-3.5	3.6	-1.8	19.7	-2.1	6.4
100人以上		29.6	11.1	2.1	7.0	26.5	12.2	13.3	-3.8	15.1	0.0	5.3
地域別	本島北部地区	25.0	-2.7	17.2	-20.6	26.8	16.2	0.0	-30.9	16.6	10.8	5.4
	本島中部地区	20.9	7.4	-5.4	4.8	18.4	9.6	10.0	1.7	19.0	-10.2	3.4
	本島南部地区	2.9	30.0	3.5	11.9	17.9	4.5	3.6	-16.0	8.0	-5.8	-2.9
	那覇地区	24.3	8.4	-6.1	0.0	18.4	7.2	15.0	-4.1	19.6	4.2	19.3
	離島地区	50.0	-32.4	11.8	33.3	22.0	-29.7	-12.2	37.1	20.0	6.3	-25.0

BSI 推移



2 各業界別総評

観光関連〔「上昇」超 台風襲来により夏場の力強さ欠く〕

2026年7-9月期の景況判断 BSI は 26.0 となり、「上昇」超となった。今春ごろから観光需要に頭打ち感が見られるなか、最繁忙期である 8 月に台風が襲来し、同月の入域観光客数は速報値で前年同月比 14.0%減と大幅に減少した。

この影響もあり、7-9 月の景況、売上高、経常利益の各 BSI はいずれも「上昇」超となったものの、上昇幅は例年の同時期に比べて半分程度にとどまり、繁忙期の機会損失が生じたとみられる。特に、客室が供給過剰気味だった宿泊業界にとって、宿泊単価が高く利用客も多い夏場の繁忙期に台風が襲来したことは大きな痛手となったと考えられ、一部事業者では、経営への影響が深刻化している可能性もある。

一方、人手不足 BSI については、33.3 と「不足」超ながら、例年の同時期と比べて大幅に緩和した。台風による観光客減が人手不足感を和らげた可能性があるほか、IT 導入などによる業務効率化も影響しているとみられる。

10-12 月期の景況判断 BSI は 0.0 と横ばいの見通しで、売上高、経常利益はいずれも「下降」超となった。11 月に予定されている首里城の復興イベントは誘客の好材料となる一方、大手旅行会社からは「九州ふっこう応援割」によって旅行需要が九州へ流出することへの懸念も聞かれた。観光需要はやや踊り場の様相を呈している可能性があり、今後、需要の回復力が改めて問われることになりそうだ。

建設業〔 2 期連続の「下降」超 資材の高止まりが利益圧迫 〕

7-9 月期の景況 BSI は-5.3 となり、2 期連続の「下降」超となった。売上は持ち直しの動きが見られる一方、資材価格の高止まりが利益を圧迫している。

ヒアリングでは、建設・不動産とも需要自体は底堅いとの声が多い。建設では民間工事の受注に関し、早期に目処が立つ企業があり、防衛関連工事の金額規模も拡大している。大規模案件受注のために、JV 組成も定着しつつある。防衛工事を確保できる企業とそうでない企業との二極化も聞こえてくる。資材価格は中東情勢を受けた急騰後、高止まりが続き、3 カ月ごとの値上がりが常態化している。受注時に着工後の金額協議条件を織り込むなどの対応が進むものの、採算確保は容易ではない。人材面では賃上げや手当の工夫、新卒・中途採用の強化が進むが、不足感は強い。

不動産分野では、分譲マンションの建築コストが上昇を続け、販売価格帯と購入者の受容水準との乖離が課題となっている。完成即完売ではなく、収益を重視した価格設定へ転換する動きや、小規模物件への方向転換もみられる。県外資本の参入が加速し、競争環境は変化している。県内事業者は実需向けの住み分けや、県外企業との JV によるノウハウ吸収を模索している。賃貸市場では入居率が高水準で、家賃上昇も浸透している。外国人向け住宅も軍人の住宅手当引き上げを背景に堅調だ。一方、金融機関の融資審査は厳格化しているほか、軍用地価格は下落が続いている。

10-12 月期の見通しは景況 11.8 と改善が見込まれ、とりわけ県内需要は 27.6 と大幅な上昇が示された。売上・経常利益とも改善の見通しである。ただし、資材価格の高止まりや人手不足といった制約は残るため、各社の対応力が業績を左右する局面が続くとみられる。

卸売・小売業〔 若干の「上昇」超、販売価格の上昇幅上回る仕入れ価格の上昇幅 〕

7-9 月期の景況判断 BSI は 1.4 でわずかに「上昇」超となった。売上高はわずかに「上昇」超だったが、経常利益は「下降」超だった。販売価格は大きく「上昇」超だが、仕入れ価格の上昇幅はさらに大きい。市場別に見ると、県内需要はわずかに「上昇」超、県外需要が「上昇」超、海外需要が若干の「下降」超となった。

10-12 月期の見通し BSI は 4.3 と、若干の「上昇」超。売上高と経常利益はともに「上昇」超。市場別では、県内需要は「上昇」超、県外と海外はともにわずかに「下降」超の見通しとなっている。

飲食サービス業 [若干の「上昇」超、仕入価格高騰が重し]

7-9月期の景況判断 BSI は 4.7 で若干の「上昇」超となった。一方、仕入価格 BSI は 85.7 と突出して高い水準が続いており、経常利益は -23.8 と「下降」超となっている。市場別に見ると、県内需要は「下降」超、県外需要と海外需要はともに「上昇」超となった。

10-12月期の見通し BSI は 0.0 と、横ばいを見込む。見通しても、仕入れ価格の高騰が重しとなり、売上は「上昇」超だが、経常利益は「下降」超を見込む。市場別では、県内と県外、海外のいずれも「上昇」超を見込んでいる。

製造業 [「下降」超、仕入れ価格上昇で売上・利益ともに厳しく]

7-9月期の景況判断 BSI は -19.0 で「下降」超。仕入れ価格は 57.1 の「上昇」超で引き続きコスト高の影響が大きく、売上 -11.9、経常利益 -16.7 とともに「下降」超となっている。市場別に見ると、県内需要と県外需要がともに「下降」超、海外需要は 0.0 となった。

10-12月期の見通しは 4.7 で、若干「上昇」超へ転じる見通し。売上は若干の「上昇」超を見通すも、経常利益は引き続き「下降」超を見通す。市場別では、県外需要で「上昇」超を見通す。

雇用 [建設、その他のサービス、飲食サービス、情報通信業で不足感強く]

【従業員】

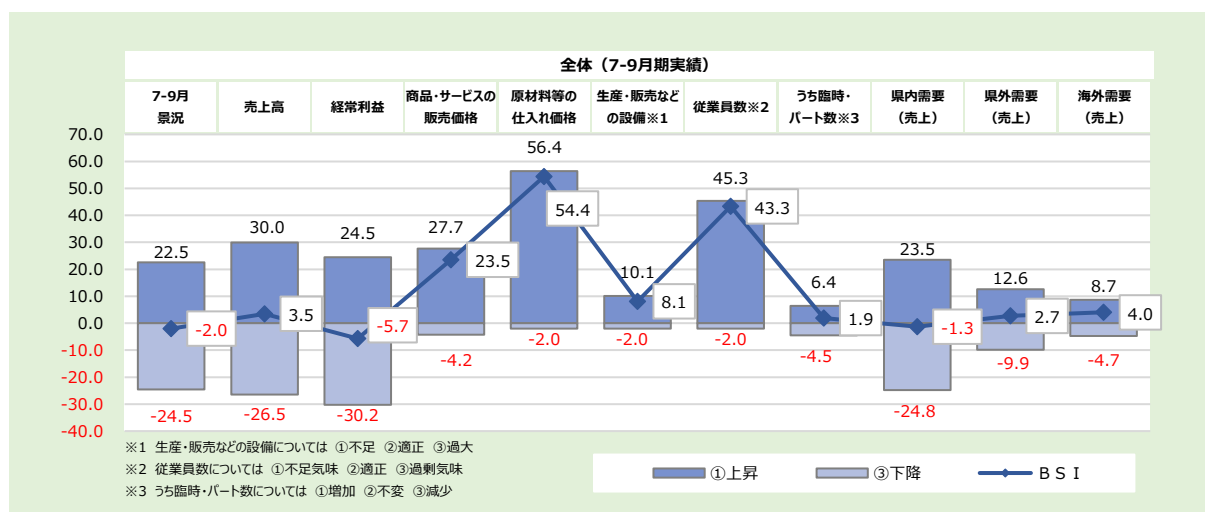
7-9月期の従業員 BSI は 43.3 で大きく「不足」超となった。全ての業種で人員が不足する状況が見られる。建設業、その他のサービス業、飲食サービス業、情報通信業などで「不足」超幅が大きかった。

3 景気動向調査結果

【全体】 実績 ▼-2.0 見通し ▲4.7

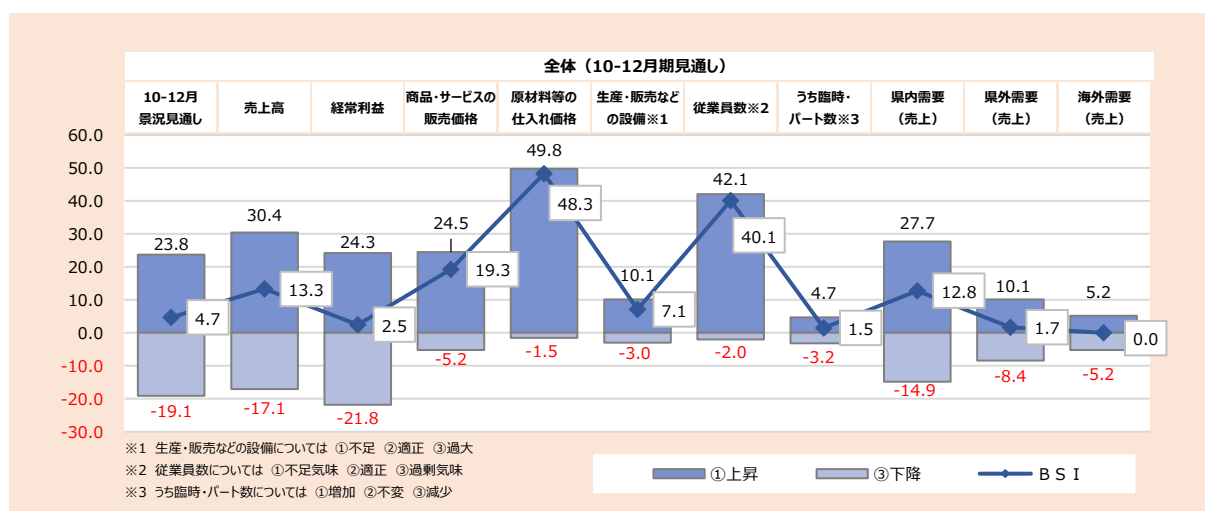
■ 2026 年 7-9 月期の実績（4-6 月期との比較）

- 7-9 月期の景況 BSI は-2.0 で「下降」超。売上高はわずかに「上昇」超、経常利益は「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数はやや「増加」超だった。
- 県内需要はわずかに「下降」超、県外需要と海外需要はわずかに「上昇」超だった。



■ 10-12 月期の見通し（7-9 月期との比較）

- 10-12 月期の景況見通しは 4.7 で「上昇」超。売上高と経常利益はいずれも「上昇」超。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パートはわずかに「増加」超だった。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要はわずかに「上昇」超、海外需要は 0.0 だった。



【景況実績の判断要因】

■ 2026 年 7-9 月期の景況判断要因

- 7-9 月期の景況を「上昇」とした 91 社における景況上昇の要因は、「県内需要の動向」（65.9%）が最も多く、次いで「県外需要の動向」（40.7%）、「海外需要の動向」（25.3%）が続いた。

2026 年 7-9 月期景況の**上昇**要因

景況判断要因（上昇）	回答数 (n=91)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	60	65.9
県外需要（売上）の動向	37	40.7
海外需要（売上）の動向	23	25.3
販売価格の動向	17	18.7
仕入れ価格の動向	11	12.1
仕入れ以外のコストの動向	6	6.6
資金繰り・資金調達の動向	4	4.4
株式・不動産等の資産価格の動向	1	1.1
為替レート	3	3.3
その他	6	6.6
無回答	0	0.0

- 「下降」とした 99 社における景況下降の要因は、「県内需要の動向」（74.7%）が最も多く、次いで「仕入れ価格の動向」（39.4%）、「仕入れ以外のコスト動向」（24.2%）、「県外需要の動向」（23.2%）が続いた。

2026 年 7-9 月期景況の**下降**要因

景況判断要因（下降）	回答数 (n=99)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	74	74.7
県外需要（売上）の動向	23	23.2
海外需要（売上）の動向	6	6.1
販売価格の動向	21	21.2
仕入れ価格の動向	39	39.4
仕入れ以外のコストの動向	24	24.2
資金繰り・資金調達の動向	11	11.1
株式・不動産等の資産価格の動向	2	2.0
為替レート	2	2.0
その他	15	15.2
無回答	0	0.0

【景況見通しの判断要因】

■ 10-12 月期の景況見通し判断要因

- 10-12 月期の見通しを「上昇」とした 96 社における上昇要因は、「県内需要の動向」（86.5%）が最も多く、次いで「県外需要の動向」（30.2%）が続いた。

10-12 月期景況の見通しの**上昇**要因

景況見通し判断要因（上昇）	回答数 (n=96)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	83	86.5
県外需要（売上）の動向	29	30.2
海外需要（売上）の動向	13	13.5
販売価格の動向	14	14.6
仕入れ価格の動向	13	13.5
仕入れ以外のコストの動向	7	7.3
資金繰り・資金調達の動向	6	6.3
株式・不動産等の資産価格の動向	1	1.0
為替レートの動向	2	2.1
その他	4	4.2
無回答	0	0.0

- 「下降」とした 77 社における下降要因は、「県内需要の動向」（62.3%）で最も多く、次いで「仕入れ価格の動向」（33.8%）、「県外需要の動向」（26.0%）、「仕入れ以外のコストの動向」（24.7%）が続いた。

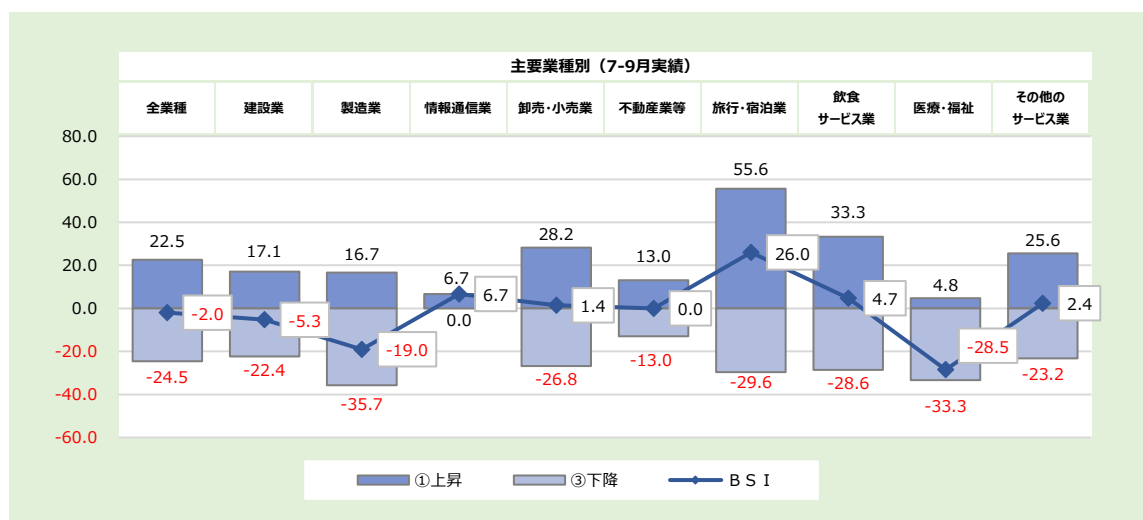
10-12 月期景況の見通し**下降**要因

景況見通し判断要因（下降）	回答数 (n=77)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	48	62.3
県外需要（売上）の動向	20	26.0
海外需要（売上）の動向	10	13.0
販売価格の動向	6	7.8
仕入れ価格の動向	26	33.8
仕入れ以外のコストの動向	19	24.7
資金繰り・資金調達の動向	10	13.0
株式・不動産等の資産価格の動向	2	2.6
為替レートの動向	1	1.3
その他	6	7.8
無回答	1	1.3

【主要業種別】

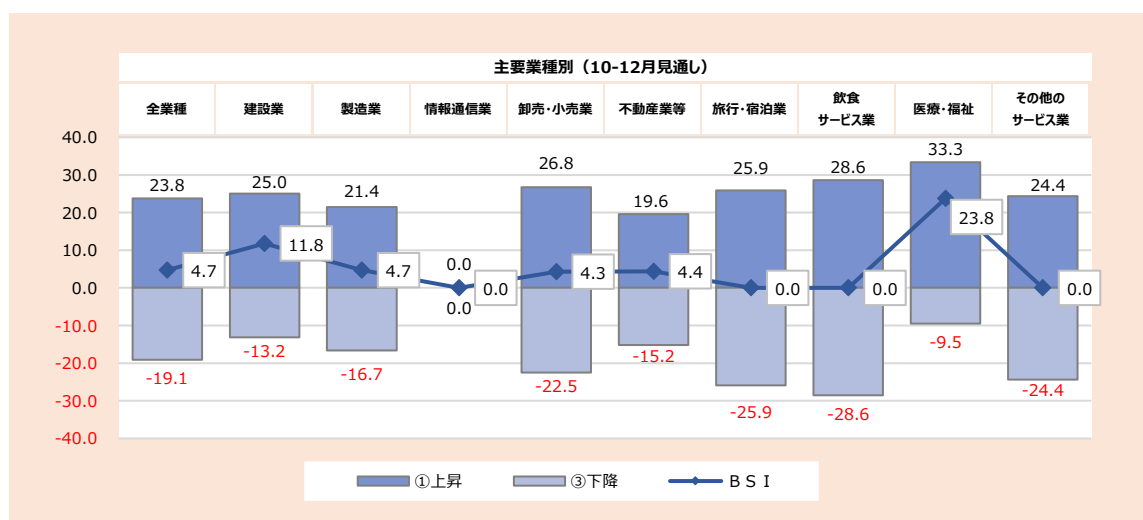
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 全体では-2.0で「下降」超となっている。
- 「上昇」超は、旅行・宿泊業(26.0)、情報通信業(6.7)、飲食サービス業(4.7)、その他のサービス業(2.4)、卸売・小売業(1.4)、だった。
- 不動産業等は0.0だった。
- 「下降」超は、医療・福祉(-28.5)、製造業(-19.0)、建設業(-5.3)だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

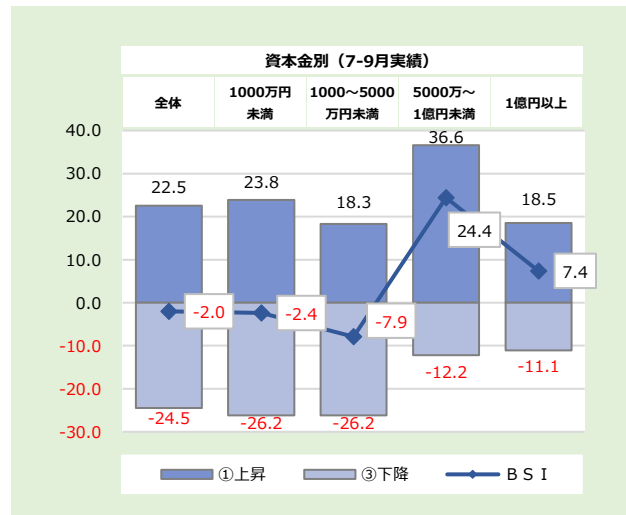
- 全体では4.7で「上昇」超となっている。
- 「上昇」超は、医療・福祉(23.8)、建設業(11.8)、製造業(4.7)、不動産業等(4.4)、卸売・小売業(4.3)だった。
- 情報通信業と旅行・宿泊業、飲食サービス業、その他のサービス業はすべて0.0だった。



【資本金別】

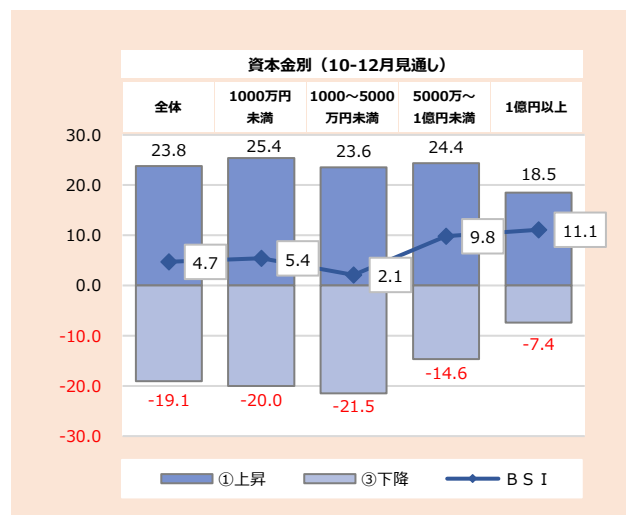
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 7-9月期の景況は、1000万円未満がわずかに「下降」超、1000万～5000万円未満が「下降」超だった。
- 5000万～1億円未満と1億円以上が「上昇」超だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

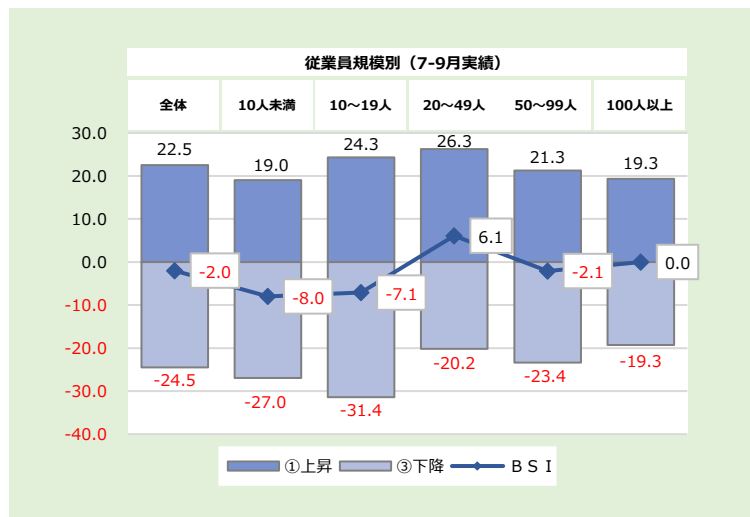
- 10-12月期の見通しは、全ての資本金規模で「上昇」超となった。



【従業員数別】

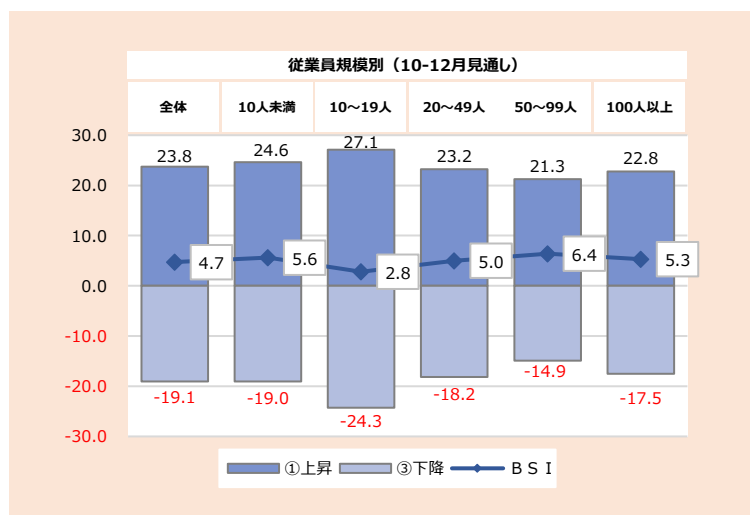
■ 2026 年 7-9 月期の実績(4-6 月期との比較)

- 7-9 月期の景況は、20~49 人規模の企業が「上昇」超となった。
- 100 人以上規模の企業は 0.0 だった。
- その他の従業員規模は「下降」超となった。



■ 10-12 月期の見通し(7-9 月期との比較)

- 10-12 月期の見通しは、全ての従業員規模で「上昇」超となった。



【地域別】

■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

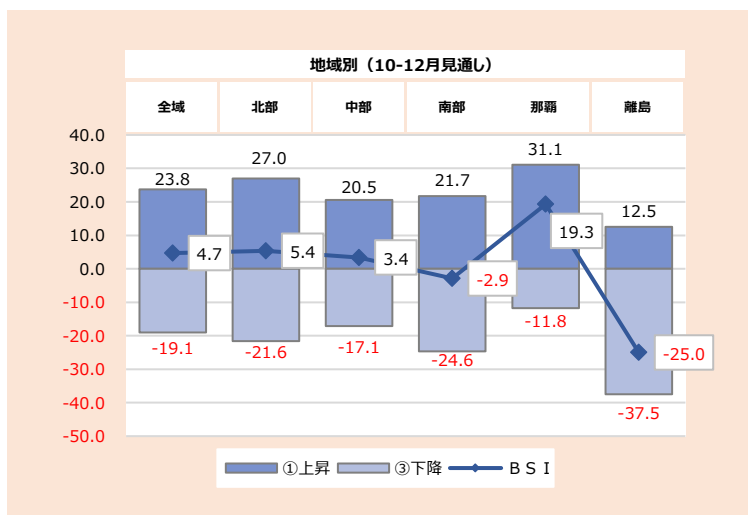
- 7-9月期の景況は、北部と離島、那覇がいずれも「上昇」超だった。
- 中部と南部は「下降」超だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

- 10-12月期の景況見通しは、那覇と北部が「上昇」超、中部がわずかに「上昇」超だった。
- 離島は「下降」超、南部はわずかに「下降」超だった。

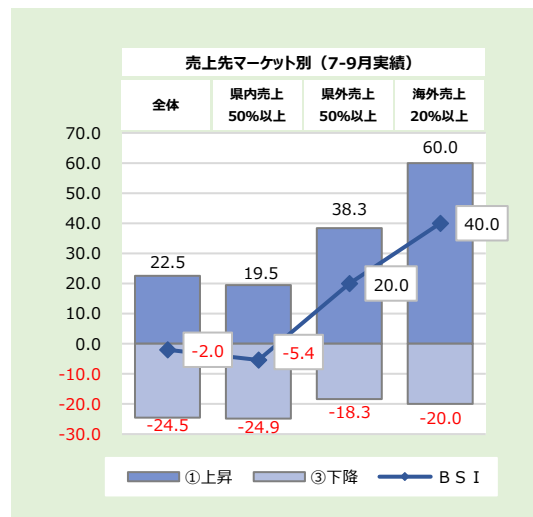
➤



【売上先マーケット別】

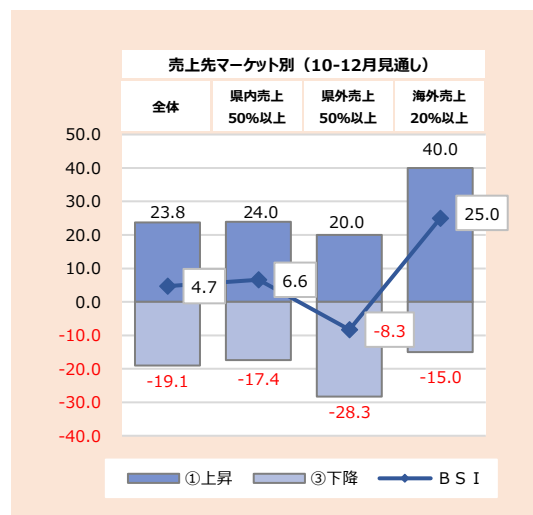
■ 2026 年 7-9 月期の実績（4-6 月期との比較）

- 7-9 月期の景況は、海外売上 20%以上と県外売上 50%以上はともに「上昇」超、県内売上 50%以上は「下降」超だった。



■ 10-12 月期の見通し（7-9 月期との比較）

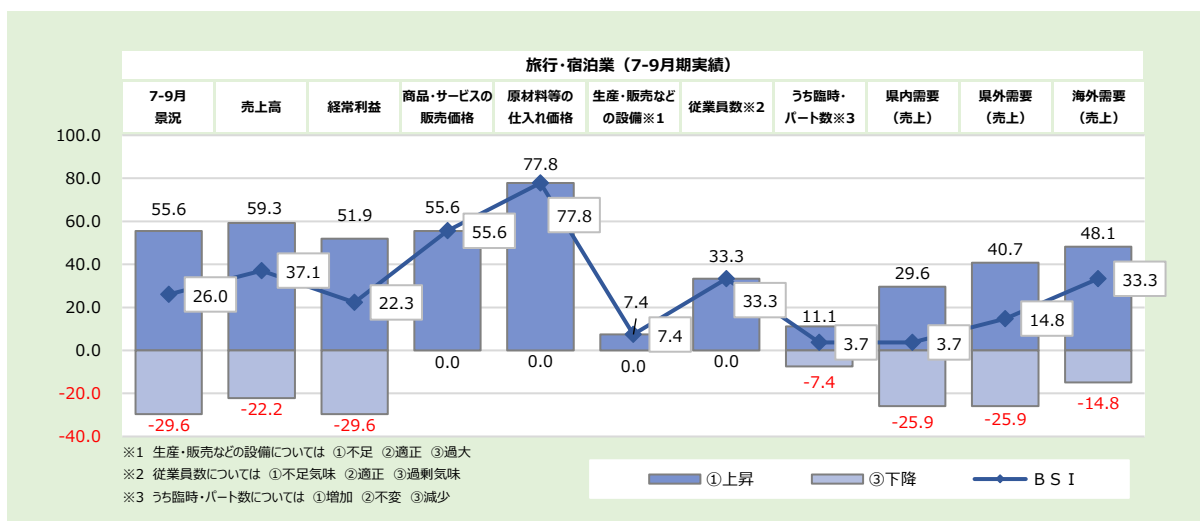
- 10-12 月期の景況見通しは、海外売上 20%以上と県内売上 50%以上は「上昇」超、県外売上 50%以上は「下降」超だった。



【旅行・宿泊業】 実績 $\nearrow 26.0$ 、見通し $\rightarrow 0.0$

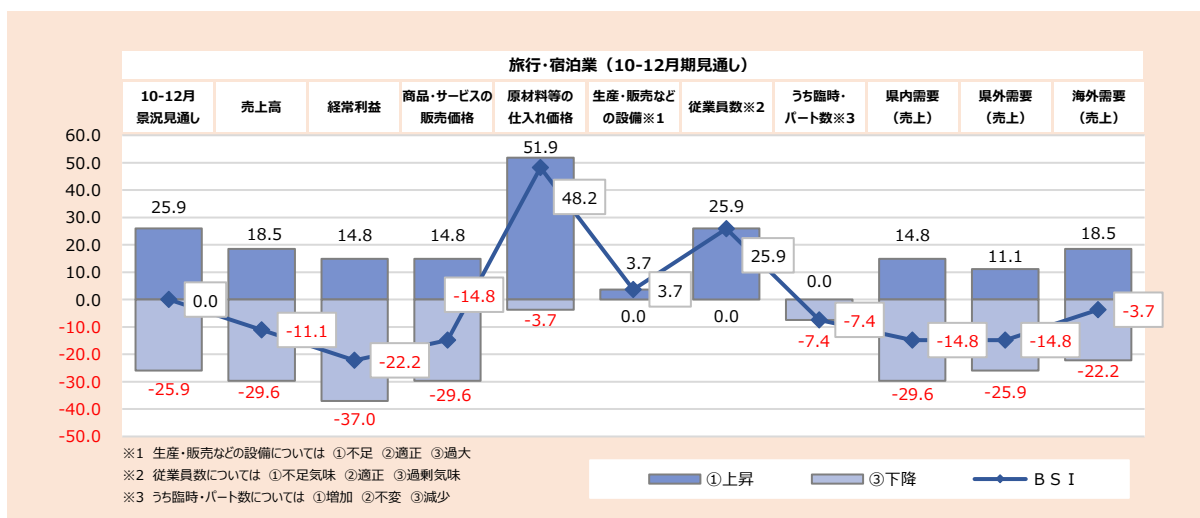
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 7-9月期の景況 BSI は 26.0 で「上昇」超。売上高と経常利益はともに「上昇」超だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに大きく「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数は「増加」超だった。
- 県内需要はわずかに「上昇」超、県外需要と海外需要はともに「上昇」超だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

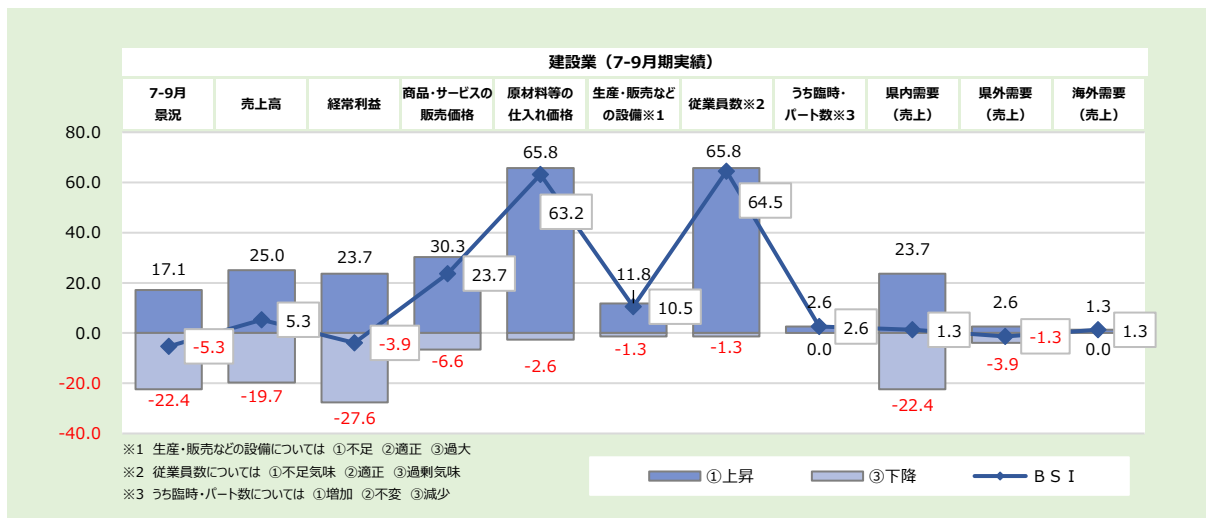
- 10-12月期の景況 BSI は 0.0 で横ばい。売上高と経常利益はともに「下降」超だった。
- 販売価格は「下降」超と仕入れ価格は「上昇」超だった。
- 設備はわずかに「不足」超、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は「減少」超だった。
- 県内需要と県外需要はともに「下降」超、海外需要はわずかに「下降」超だった。



【建設業】 実績 ▼-5.3、見通し ▲11.8

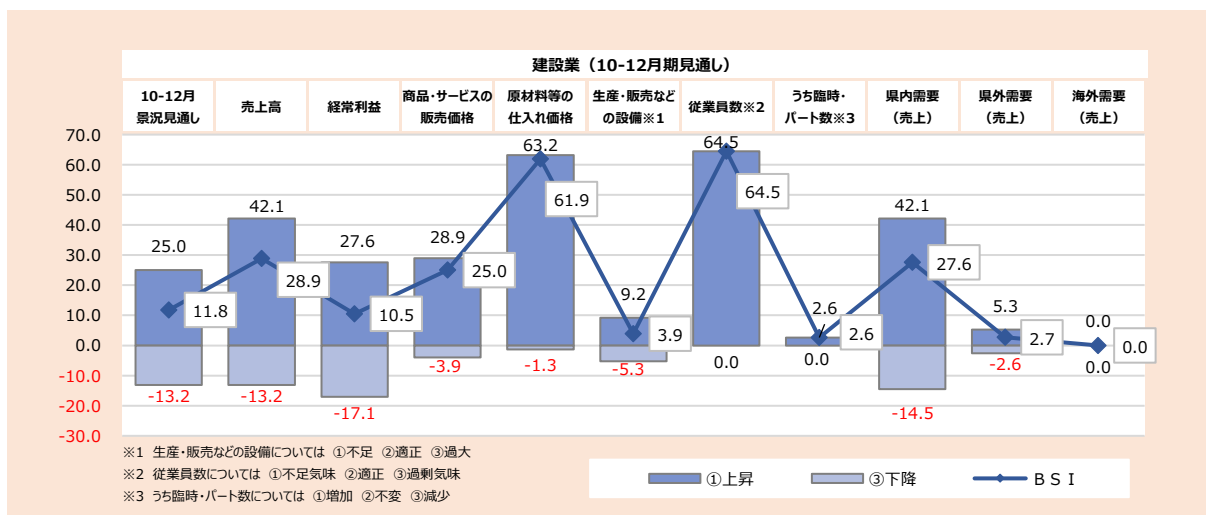
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 建設業の7-9月期の景況BSIは-5.3で「下降」超。売上高は「上昇」超、経常利益はわずかに「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数はわずかに「増加」超。
- 県内需要と海外需要はともにわずかに「上昇」超、県外需要はわずかに「下降」超だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

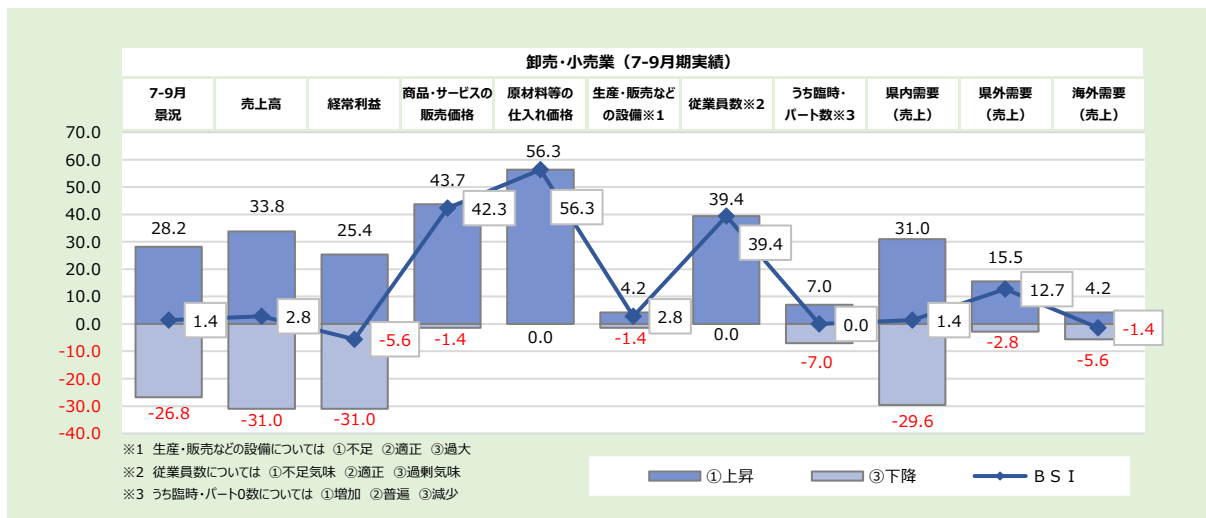
- 10-12月期の景況見通しは11.8で「上昇」超。売上高と経常利益はともに「上昇」超だった。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数はわずかに「増加」超。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要はわずかに「上昇」超、海外需要は0.0だった。



【卸売・小売業】 実績 $\nearrow 1.4$ 、見通し $\nearrow 4.3$

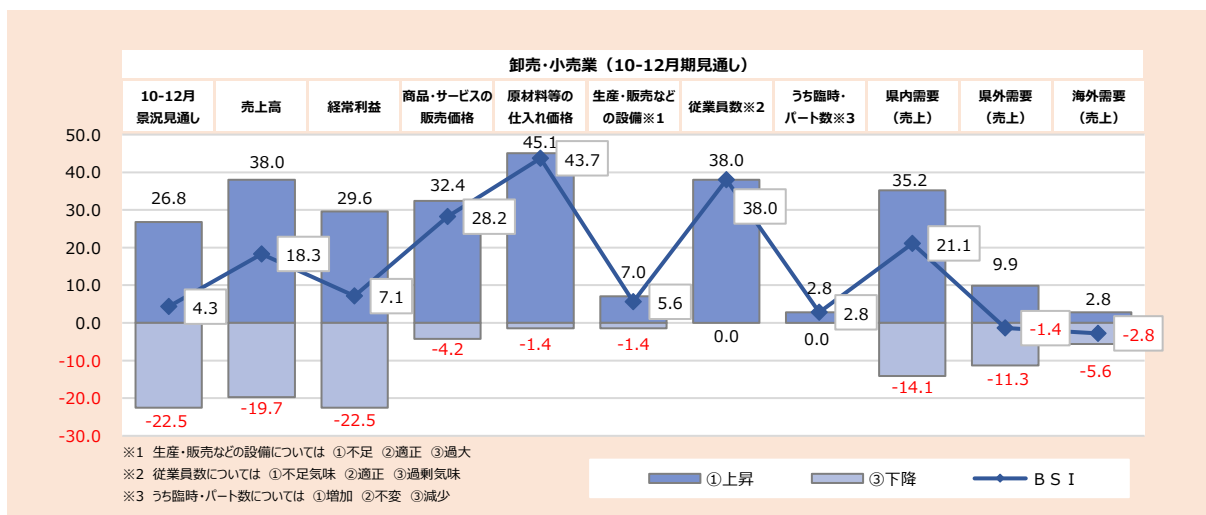
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 卸売・小売業の7-9月期の景況は1.4でわずかに「上昇」超。売上高はわずかに「上昇」超、経常利益は「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備はわずかに「不足」超、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は0.0だった。
- 県内需要はわずかに「上昇」超、県外需要は「上昇」、海外需要はわずかに「下降」超。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

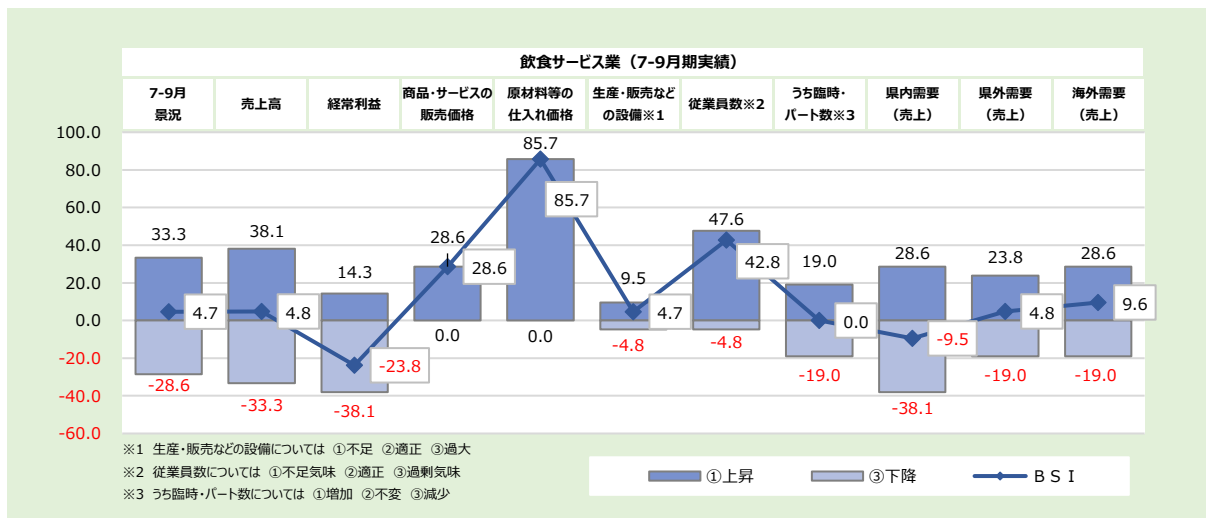
- 10-12月期の景況見通しは4.3でわずかに「上昇」超。売上高と経常利益はともに「上昇」超だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数はわずかに「増加」超だった。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要と海外需要はともにわずかに「下降」超だった。



【飲食サービス業】 実績 4.7、見通し →0.0

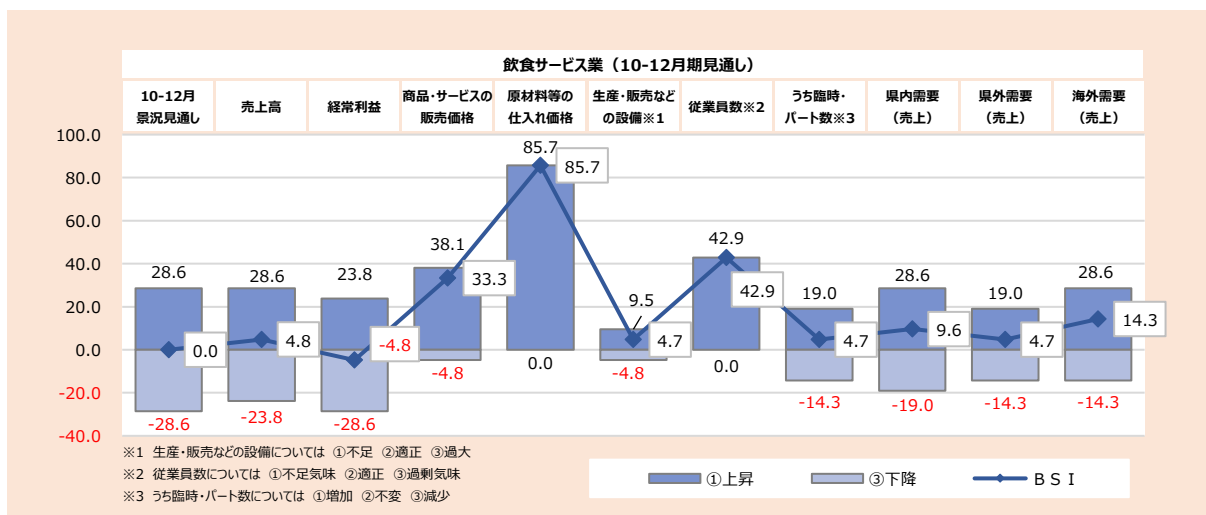
■ 2026 年 7-9 月期の実績（4-6 月期との比較）

- 飲食サービス業の 7-9 月期の景況は 4.7 でわずかに「上昇」超。売上高はわずかに「上昇」超、経常利益は「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備はわずかに「不足」超、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は 0.0 だった。
- 県内需要は「下降」超、県外需要はわずかに「上昇」超、海外需要は「上昇」超だった。



■ 10-12 月期の見通し（7-9 月期との比較）

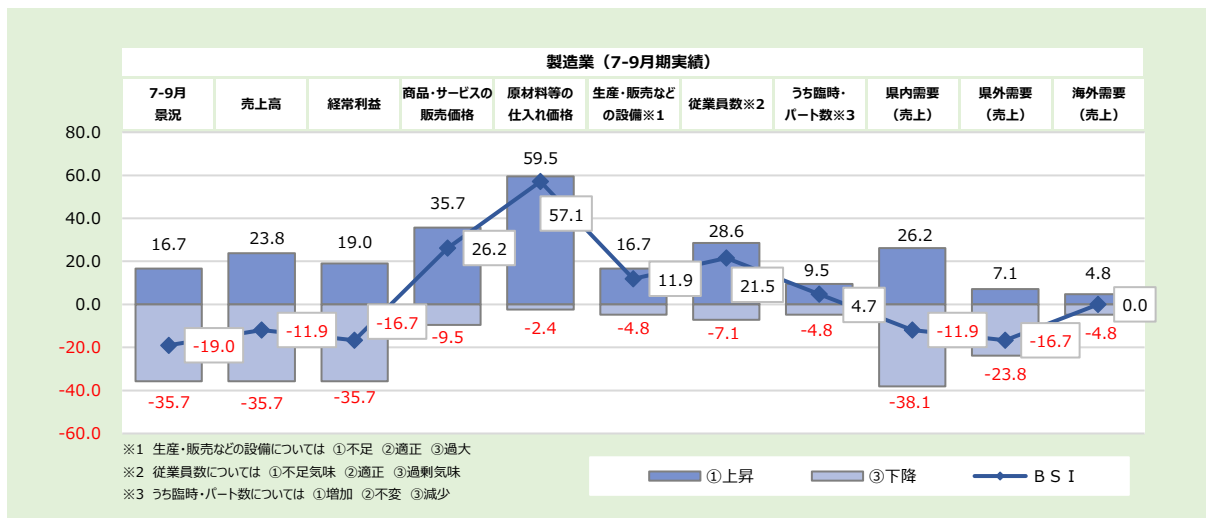
- 10-12 月期の景況見通しは 0.0 で横ばい。売上高はわずかに「上昇」超、経常利益はわずかに「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備はわずかに「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超。
- 県内需要と海外需要はいずれも「上昇」超、県外需要はわずかに「上昇」超だった。



【製造業】 実績 $\searrow -19.0$ 、見通し $\nearrow 4.7$

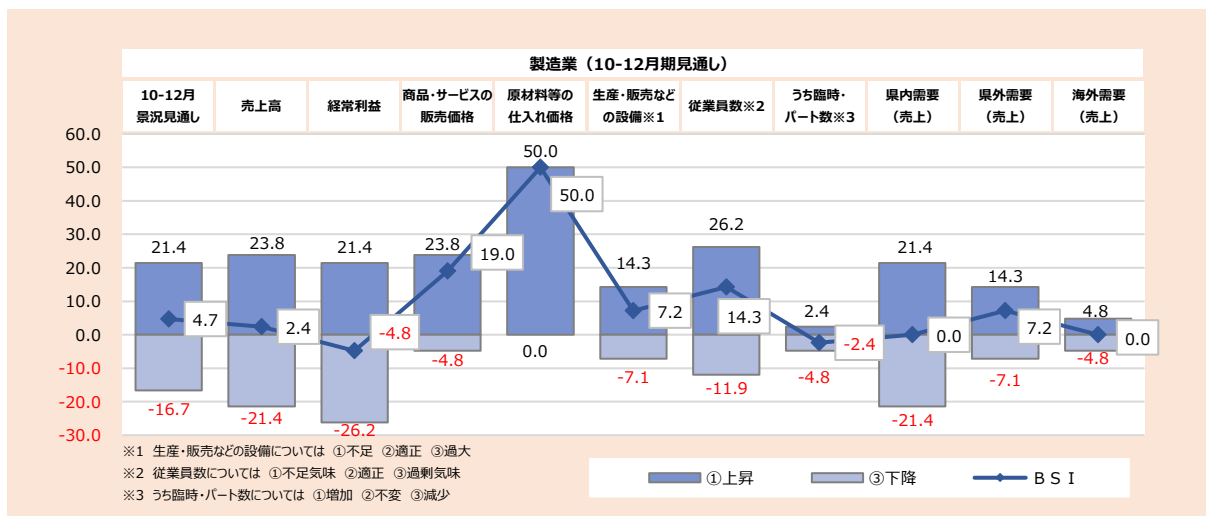
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 製造業の7-9月期の景況BSIは-19.0で「下降」超。売上高と経常利益はともに「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数は「増加」超だった。
- 県内需要と県外需要はともに「下降」超、海外需要は0.0だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

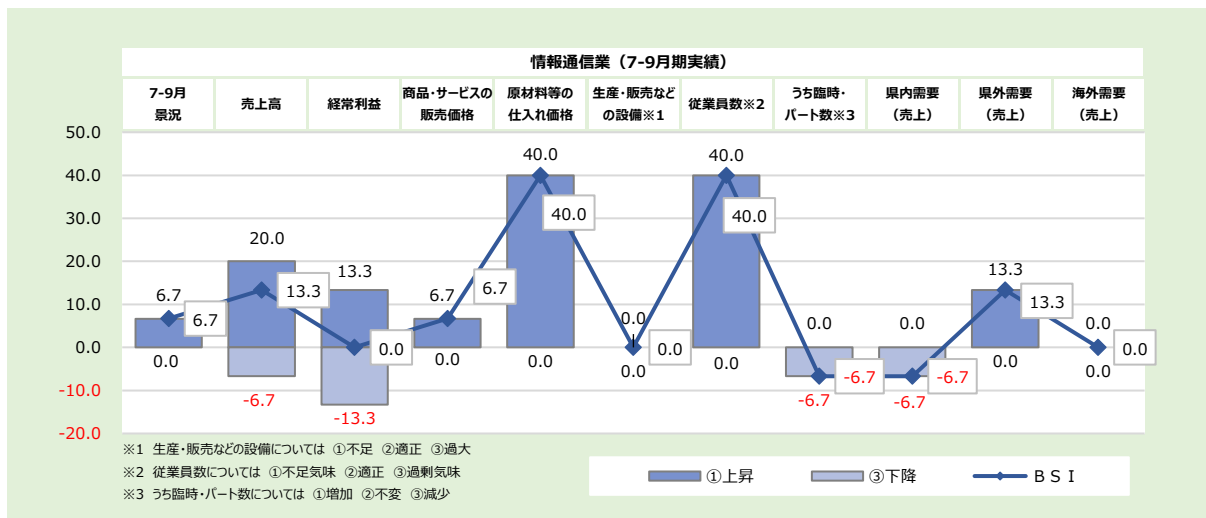
- 10-12月期の景況見通しは4.7でわずかに「上昇」超。売上高はわずかに「上昇」超、経常利益はわずかに「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数はわずかに「減少」超だった。
- 県内需要と海外需要はともに0.0で横ばい、県外需要は「上昇」超だった。



【情報通信業】 実績 6.7、見通し →0.0

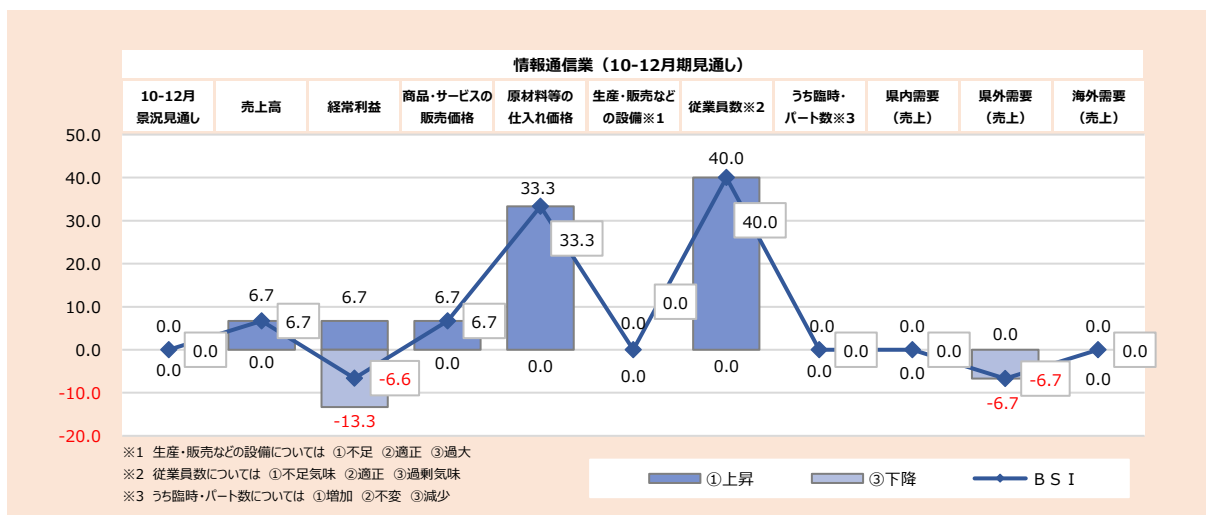
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 情報通信業の7-9月期の景況は6.7で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は0.0だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに「上昇」超だった。
- 設備は0.0、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は「減少」超だった。
- 県内需要は「下降」超、県外需要は「上昇」超、海外需要は0.0だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

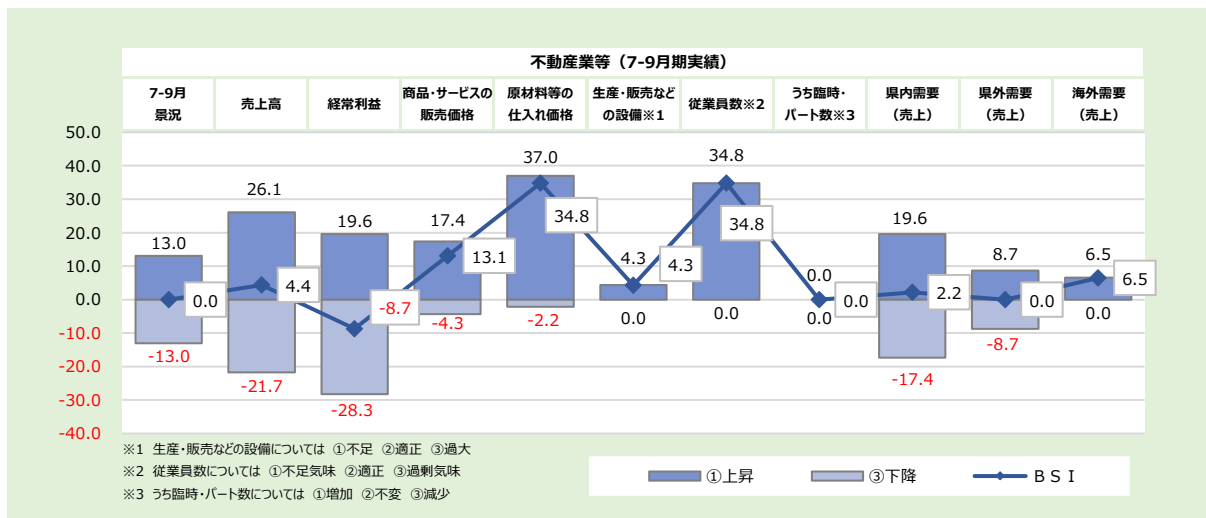
- 10-12月期の景況見通しは0.0で横ばい。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超だった。
- 販売価格と仕入れ価格は「上昇」超だった。
- 設備は0.0、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は0.0だった。
- 県内需要と海外需要はともに0.0、県外需要は「下降」超だった。



【不動産業等】 実績 →0.0、見通し ↗4.4

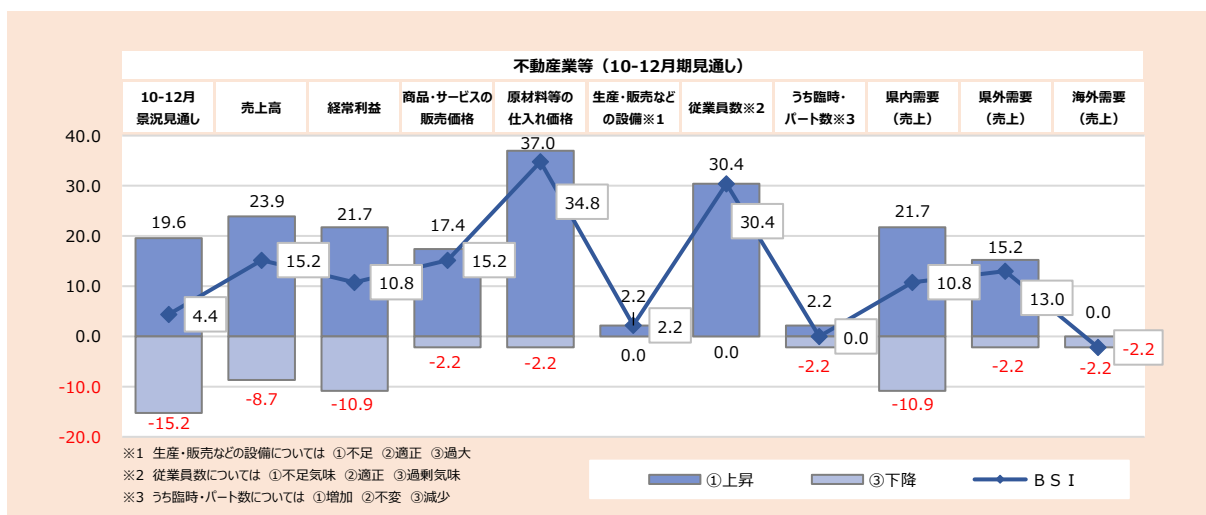
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 不動産業等の7-9月期の景況は0.0で横ばい。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数は0.0だった。
- 県内需要はわずかに「上昇」超、県外需要は0.0、海外需要は「上昇」超だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

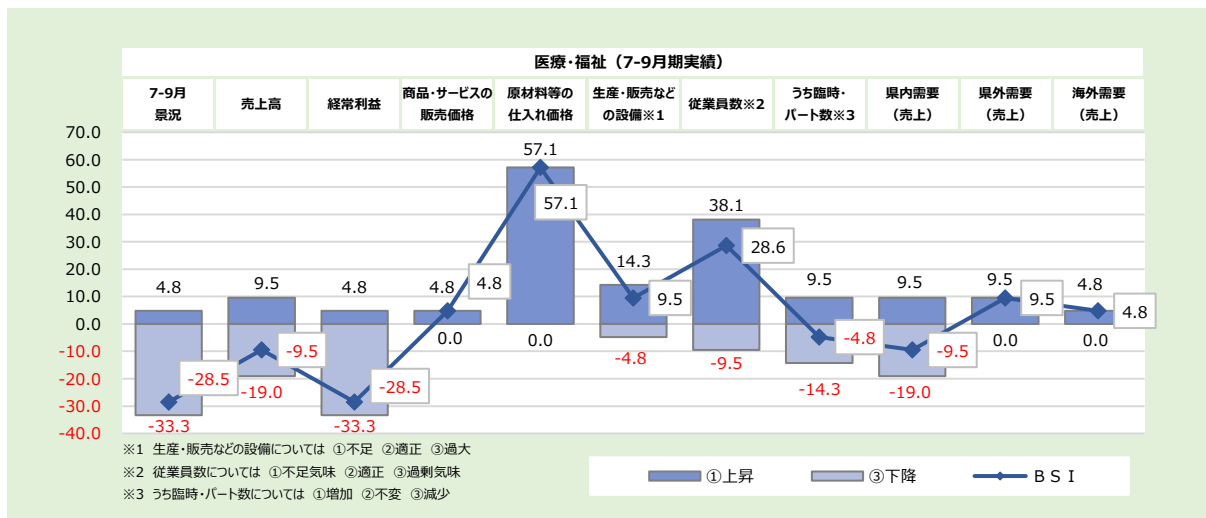
- 10-12月期の景況見通しは4.4で「上昇」超。売上高と経常利益はともに「上昇」超だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに「上昇」超だった。
- 設備はわずかに「不足」超、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は0.0だった。
- 県内需要と県外需要はともに「上昇」超、海外需要はわずかに「下降」超だった。



【医療・福祉】 実績 ▼-28.5、見通し ▲23.8

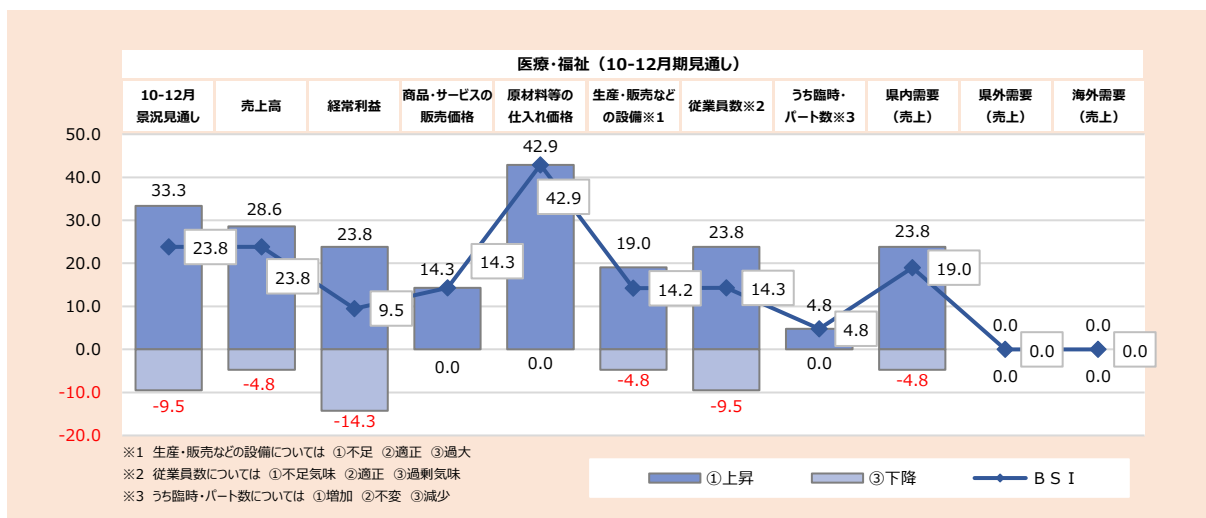
■ 2026 年 7-9 月期の実績（4-6 月期との比較）

- 医療・福祉の 7-9 月期の景況は-28.5 で「下降」超。売上高と経常利益はともに「下降」超だった。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数は「減少」超だった。
- 県内需要は「下降」超、県外需要は「上昇」超、海外需要はわずかに「上昇」超だった。



■ 10-12 月期の見通し（7-9 月期との比較）

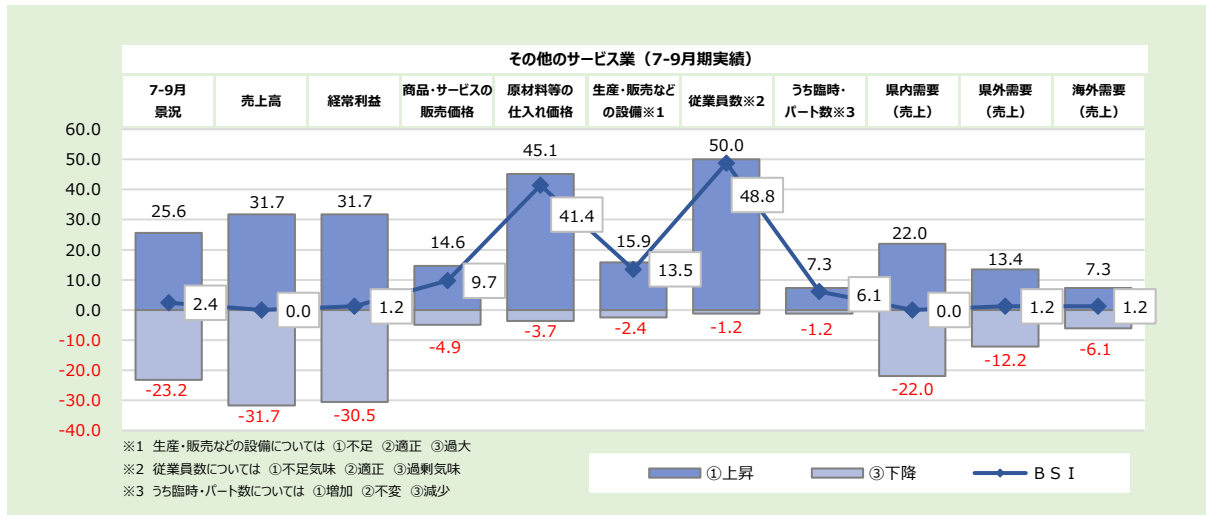
- 10-12 月期の見通しは 23.8 で「上昇」超。売上高と経常利益はともに「上昇」超だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数はわずかに「増加」超だった。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要と海外需要はともに 0.0 だった。



【その他のサービス業】 実績 2.4、見通し →0.0

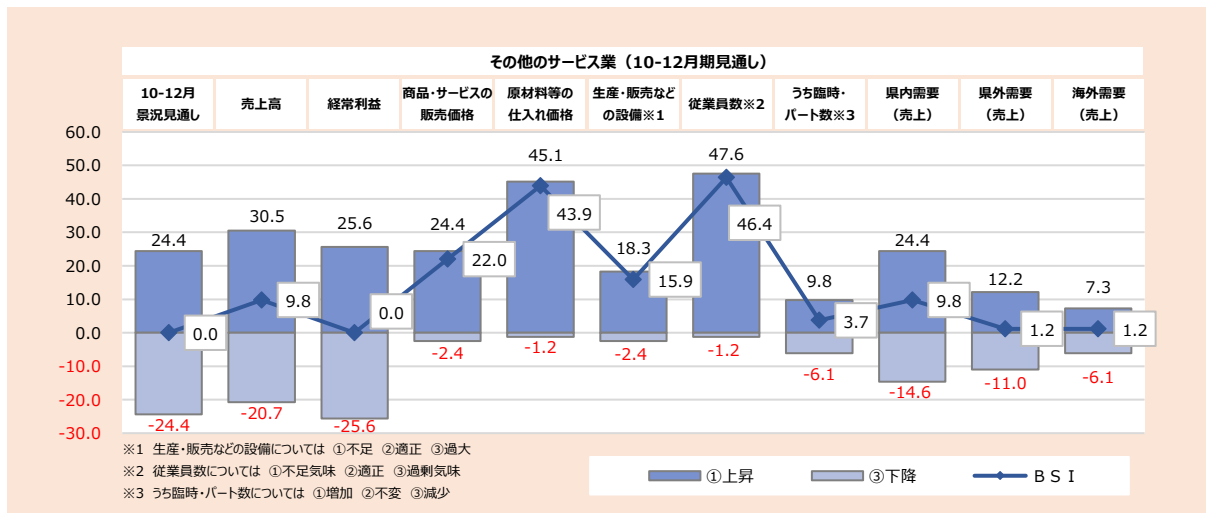
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- その他のサービス業の7-9月期の景況は2.4でわずかに「上昇」超。売上高は0.0、経常利益はわずかに「上昇」超だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数は「増加」超。
- 県内需要は0.0、県外需要と海外需要はともにわずかに「上昇」超だった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

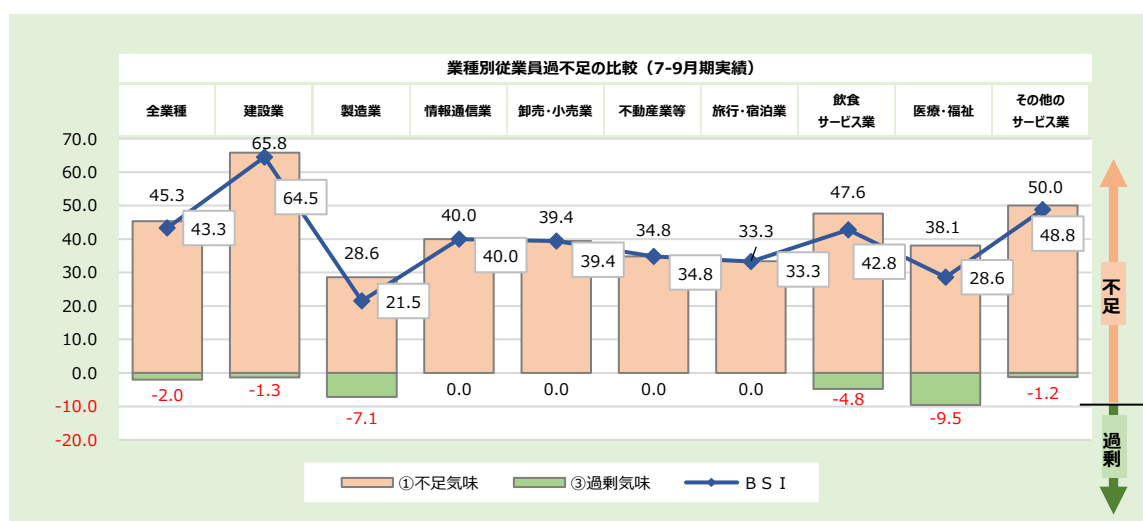
- 10-12月期の景況見通しは0.0で横ばい。売上高は「上昇」超、経常利益は0.0だった。
- 販売価格と仕入れ価格はともに「上昇」超だった。
- 設備と従業員数はともに「不足」超。臨時・パート数はわずかに「増加」超。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要と海外需要はともにわずかに「上昇」超だった。



【雇用関連集計(従業員数)】実績 $\nearrow 43.3$ (不足)、見通し $\nearrow 40.1$ (不足)

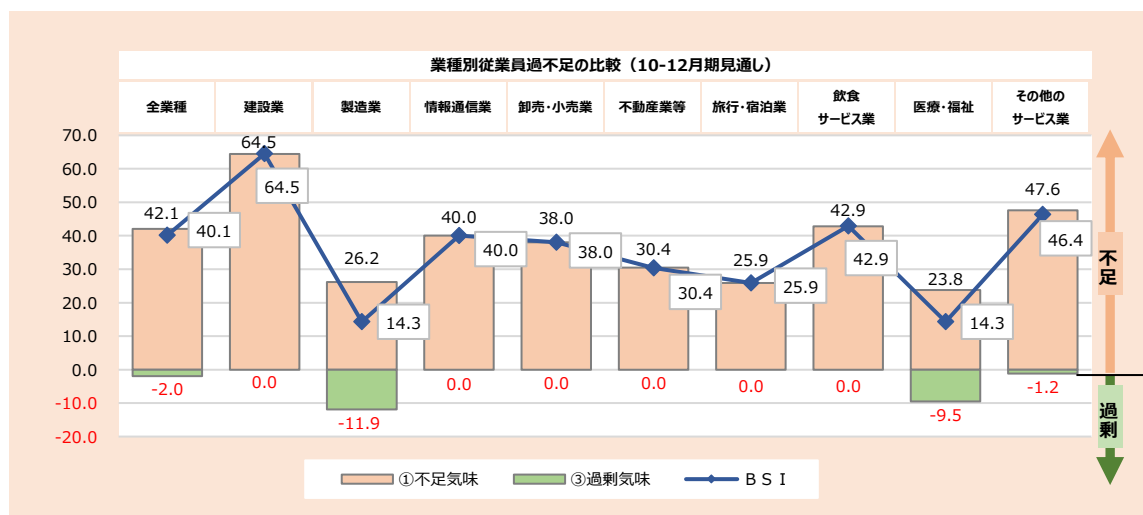
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 7-9月期の従業員 BSI は 43.3 で大きく「不足」超となった。
- 全ての業種で人員が不足する状況が見られる。
- 建設業、その他のサービス業、飲食サービス業、情報通信業などで「不足」超幅が大きかった。
-



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

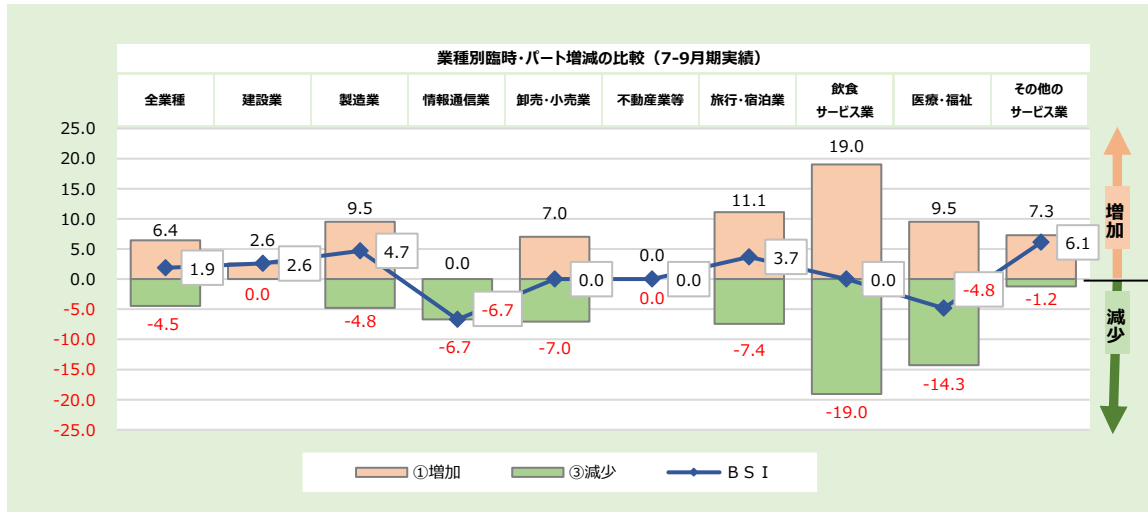
- 10-12月期の従業員の見通し BSI は 40.1 で大きく「不足」超となった。
- 全ての業種で人員が不足する状況が見られる。
- 建設業、その他のサービス業、飲食サービス業、情報通信業などで「不足」超幅が大きかった。



【雇用関連集計(臨時・パート)】 実績 $\nearrow 1.9$ (増加)、見通し $\nearrow 1.5$ (増加)

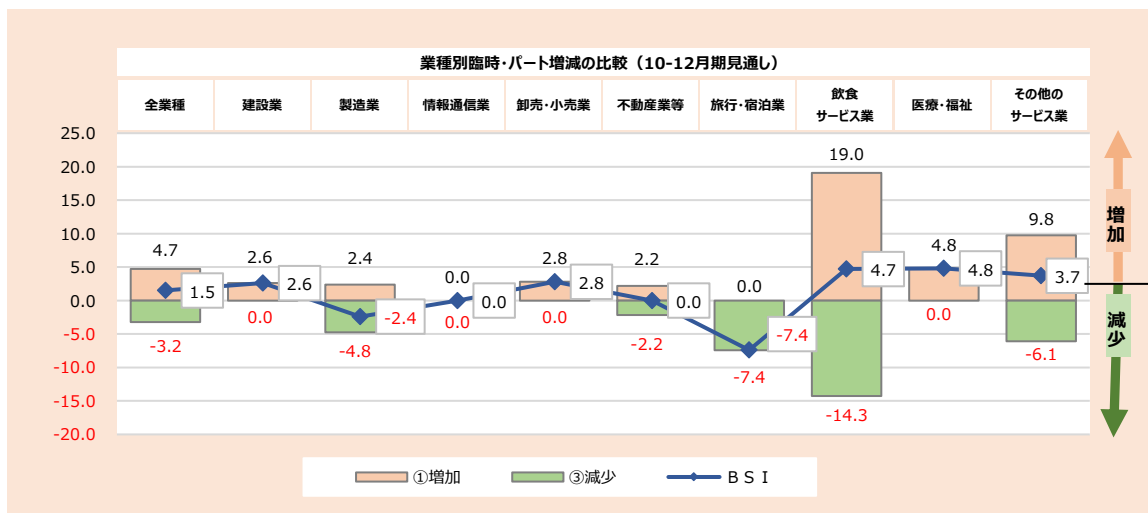
■ 2026年7-9月期の実績(4-6月期との比較)

- 7-9月期の臨時・パートのBSIは1.9でわずかに「増加」超となった。
- その他のサービス業で「増加」幅が比較的大きかった。



■ 10-12月期の見通し(7-9月期との比較)

- 10-12月期の臨時・パートの見通しBSIは1.5でわずかに「増加」超となった。
- 医療・福祉で「増加」幅が大きかった。



主要業種別・項目別 BSI 一覧表

■全体BSI

	時期	2024年		2025年				2026年				
		7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI		21.2	6.6	-0.8	4.9	19.4	5.6	7.7	-3.2	17.3	-2.0	4.7
売上高		24.3	10.8	8.2	7.3	25.0	14.1	12.5	1.5	19.8	3.5	13.3
経常利益		12.7	-6.6	-1.9	-3.6	12.2	3.3	3.9	-10.2	5.2	-5.7	2.5
商品・サービスの販売価格		22.7	21.0	28.3	21.3	22.9	18.6	23.2	28.4	30.7	23.5	19.3
原材料等の仕入れ価格		46.8	51.9	55.3	51.4	47.3	43.2	50.9	65.3	62.0	54.4	48.3
生産・販売などの設備		14.0	11.1	10.6	12.5	14.3	10.1	11.3	13.3	14.4	8.1	7.1
従業員数		51.2	50.0	45.3	42.6	52.3	44.6	49.7	43.0	43.0	43.3	40.1
うち臨時・パート		7.2	0.0	-1.9	0.2	3.9	1.3	0.0	0.0	3.1	1.9	1.5
県内需要（売上）		17.6	6.7	-0.3	2.6	19.8	11.2	8.7	1.0	38.4	-1.3	12.8
県外需要（売上）		16.0	2.8	6.8	5.5	15.9	5.2	5.9	2.7	13.0	2.7	1.7
海外需要（売上）		9.6	4.4	6.6	2.9	11.3	-0.8	2.2	4.6	9.2	4.0	0.0

■建設業BSI

時期	2024年		2025年				2026年				
	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI	-2.9	18.2	15.4	-3.5	-1.3	4.6	15.5	-9.3	10.5	-5.3	11.8
売上高	0.0	27.3	24.7	5.3	8.5	18.2	21.3	-14.0	16.3	5.3	28.9
経常利益	-15.9	3.1	6.2	-15.8	-4.9	10.2	13.6	-13.9	1.2	-3.9	10.5
商品・サービスの販売価格	17.4	12.2	29.2	12.3	20.8	18.2	21.3	32.5	40.7	23.7	25.0
原材料等の仕入れ価格	46.4	51.5	57.0	49.1	51.2	50.0	55.3	77.9	80.2	63.2	61.9
生産・販売などの設備	14.5	13.6	10.8	12.2	13.4	11.4	12.6	15.1	16.2	10.5	3.9
従業員数	72.5	77.3	69.3	64.9	63.5	62.5	65.0	55.8	58.1	64.5	64.5
うち臨時・パート	5.8	7.6	1.5	1.7	2.5	2.3	3.9	2.3	2.3	2.6	2.6
県内需要（売上）	0.0	19.7	18.5	3.5	9.8	20.4	23.3	-5.8	37.2	1.3	27.6
県外需要（売上）	2.9	3.0	1.6	7.0	4.9	6.8	4.9	3.5	0.0	-1.3	2.7
海外需要（売上）	1.4	1.5	0.0	-1.8	2.4	0.0	1.9	1.1	0.0	1.3	0.0

■製造業BSI

	時期	2024年		2025年				2026年				
		7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI		9.3	8.5	-34.9	0.0	27.3	10.0	-3.6	-6.4	10.6	-19.0	4.7
売上高		14.0	25.7	-25.6	-2.6	25.0	14.0	7.2	0.0	12.8	-11.9	2.4
経常利益		9.3	-8.5	-32.6	-10.3	6.8	0.0	-10.7	-10.7	-2.1	-16.7	-4.8
商品・サービスの販売価格		16.3	22.8	14.0	20.5	15.9	12.0	19.6	23.4	23.4	26.2	19.0
原材料等の仕入れ価格		48.8	57.1	65.1	59.0	61.4	38.0	53.6	83.0	78.7	57.1	50.0
生産・販売などの設備		23.3	20.0	18.6	23.0	31.8	18.0	21.4	21.3	23.4	11.9	7.2
従業員数		34.9	34.3	32.5	33.3	36.4	42.0	42.8	49.0	44.6	21.5	14.3
うち臨時・パート		0.0	-2.8	0.0	2.6	6.9	0.0	1.7	-6.4	0.0	4.7	-2.4
県内需要（売上）		11.6	-2.8	-20.9	5.2	27.3	8.0	8.9	-2.1	46.8	-11.9	0.0
県外需要（売上）		14.0	0.0	-9.3	0.0	11.4	6.0	16.0	8.5	12.8	-16.7	7.2
海外需要（売上）		2.3	0.0	-4.7	-2.6	9.1	-4.0	-3.6	4.3	2.2	0.0	0.0

■情報通信業BSI

	時期	2024年		2025年				2026年				
		7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI		33.3	37.5	14.3	-12.5	-4.8	12.5	6.7	-5.3	-5.3	6.7	0.0
売上高		13.3	37.5	35.8	-18.7	0.0	12.5	0.0	0.0	-10.6	13.3	6.7
経常利益		6.7	25.0	21.4	-6.2	-14.3	0.0	6.7	-10.5	-5.3	0.0	-6.6
商品・サービスの販売価格		20.0	12.5	7.2	25.0	9.5	-6.3	6.7	26.3	10.5	6.7	6.7
原材料等の仕入れ価格		60.0	12.5	0.0	56.3	19.0	18.8	33.3	42.1	31.5	40.0	33.3
生産・販売などの設備		13.3	0.0	7.1	6.2	4.8	0.0	13.3	10.5	15.8	0.0	0.0
従業員数		66.7	62.5	28.6	37.5	52.4	43.8	40.0	31.5	31.5	40.0	40.0
うち臨時・パート		13.3	12.5	21.4	0.0	4.8	12.5	0.0	-5.3	-5.3	-6.7	0.0
県内需要（売上）		0.0	0.0	7.1	-18.8	-9.5	12.5	-6.7	-5.3	57.9	-6.7	0.0
県外需要（売上）		20.0	37.5	14.3	12.5	0.0	12.5	-6.6	5.2	0.0	13.3	-6.7
海外需要（売上）		0.0	0.0	7.1	-6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■卸売・小売業BSI

時期	2024年		2025年				2026年				
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI	31.7	1.6	-5.7	4.1	20.7	1.1	5.6	-4.4	11.1	1.4	4.3
売上高	31.7	1.6	7.0	8.1	27.6	12.9	4.5	4.5	20.0	2.8	18.3
経常利益	23.8	-17.2	-5.7	-10.8	9.2	12.9	-4.5	-12.2	-2.2	-5.6	7.1
商品・サービスの販売価格	34.9	51.6	43.7	29.7	31.0	33.3	37.0	50.0	51.1	42.3	28.2
原材料等の仕入れ価格	49.2	67.2	69.0	47.3	43.7	45.2	53.9	73.4	66.7	56.3	43.7
生産・販売などの設備	12.7	7.8	5.7	6.7	17.3	9.7	14.6	12.2	14.5	2.8	5.6
従業員数	47.6	32.8	36.6	36.4	46.0	43.0	52.8	38.9	36.7	39.4	38.0
うち臨時・パート	3.2	7.8	-7.1	-1.4	2.3	4.3	-5.7	-5.5	4.5	0.0	2.8
県内需要(売上)	27.0	4.7	0.0	4.0	24.1	10.8	1.1	0.0	20.0	1.4	21.1
県外需要(売上)	14.3	0.0	4.3	0.0	18.4	5.4	4.5	3.3	16.6	12.7	-1.4
海外需要(売上)	3.2	0.0	7.1	-2.7	10.4	-3.2	0.0	0.0	12.2	-1.4	-2.8

■不動産業等BSI

時期	2024年		2025年				2026年				
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI	14.7	18.2	34.5	23.7	16.0	10.8	22.2	7.7	17.3	0.0	4.4
売上高	20.6	9.1	27.6	23.7	18.0	17.0	25.9	13.5	21.2	4.4	15.2
経常利益	14.7	3.1	24.1	15.8	18.0	1.5	22.2	15.4	19.2	-8.7	10.8
商品・サービスの販売価格	14.7	15.2	34.5	21.1	20.0	21.5	31.5	23.1	21.2	13.1	15.2
原材料等の仕入れ価格	29.4	30.3	48.3	44.7	36.0	33.8	35.2	34.6	32.7	34.8	34.8
生産・販売などの設備	2.9	3.0	6.9	13.2	6.0	3.1	0.0	7.7	9.6	4.3	2.2
従業員数	17.6	39.4	27.6	26.3	34.0	20.0	29.6	23.1	19.3	34.8	30.4
うち臨時・パート	2.9	3.0	-3.5	0.0	-2.0	0.0	5.6	0.0	7.7	0.0	0.0
県内需要(売上)	20.6	15.2	27.6	21.1	28.0	10.8	16.7	13.5	55.8	2.2	10.8
県外需要(売上)	14.7	6.1	17.2	21.1	26.0	7.6	5.5	5.8	15.4	0.0	13.0
海外需要(売上)	0.0	3.0	3.4	0.0	6.0	3.1	1.8	3.8	7.7	6.5	-2.2

■旅行・宿泊業BSI

時期	2024年		2025年				2026年				
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI	67.6	-17.2	31.2	28.6	66.7	7.2	3.7	-19.4	54.8	26.0	0.0
売上高	70.6	-20.7	43.7	28.6	75.7	14.3	7.4	-32.2	41.9	37.1	-11.1
経常利益	55.9	-27.6	37.5	17.2	66.7	10.7	3.7	-38.7	35.4	22.3	-22.2
商品・サービスの販売価格	58.8	6.9	50.0	31.4	69.7	21.4	11.1	12.9	51.6	55.6	-14.8
原材料等の仕入れ価格	61.8	51.7	56.3	65.7	63.6	57.1	55.6	58.0	71.0	77.8	48.2
生産・販売などの設備	14.7	13.8	18.8	22.9	12.1	7.1	3.7	19.4	19.4	7.4	3.7
従業員数	55.9	41.4	40.6	42.9	51.5	39.3	37.0	41.9	48.4	33.3	25.9
うち臨時・パート	26.5	6.9	18.7	8.6	18.2	-14.3	-7.4	6.5	12.9	3.7	-7.4
県内需要(売上)	38.2	-24.1	-3.2	2.9	33.3	-10.7	-14.8	-25.8	35.4	3.7	-14.8
県外需要(売上)	55.9	-10.3	46.8	2.9	60.6	3.5	7.4	-32.2	32.3	14.8	-14.8
海外需要(売上)	41.2	17.3	34.3	28.5	42.5	7.2	7.4	19.4	41.9	33.3	-3.7

■飲食サービス業BSI

時期	2024年		2025年				2026年				
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI	62.5	-13.6	-9.1	-5.0	43.3	9.5	8.4	0.0	40.0	4.7	0.0
売上高	58.3	-13.7	-4.6	0.0	43.3	19.0	25.0	20.0	36.7	4.8	4.8
経常利益	25.0	-22.8	-31.8	-15.0	21.6	-9.5	4.2	-23.4	0.0	-23.8	-4.8
商品・サービスの販売価格	33.3	31.9	31.9	35.0	35.1	19.0	37.5	36.7	40.0	28.6	33.3
原材料等の仕入れ価格	83.3	81.9	86.4	90.0	64.9	90.5	70.8	80.0	76.7	85.7	85.7
生産・販売などの設備	20.8	9.1	4.5	10.0	16.2	14.2	12.5	20.0	16.7	4.7	4.7
従業員数	62.5	59.1	68.2	50.0	59.5	47.6	75.0	30.0	36.6	42.8	42.9
うち臨時・パート	0.0	-18.2	-22.8	-15.0	5.4	-9.5	-37.5	-6.7	-6.6	0.0	4.7
県内需要(売上)	50.0	4.6	-13.7	-5.0	13.5	23.8	4.2	-6.6	36.7	-9.5	9.6
県外需要(売上)	45.8	9.1	18.2	15.0	37.8	14.3	12.5	13.3	30.0	4.8	4.7
海外需要(売上)	45.8	9.1	27.3	10.0	37.8	4.8	4.2	23.3	26.6	9.6	14.3

■医療・福祉BSI

時期	2024年		2025年				2026年				
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI	-10.5	0.0	-43.8	-23.8	10.7	-3.3	0.0	8.8	20.6	-28.5	23.8
売上高	15.8	27.7	-25.0	-33.3	21.4	-3.2	4.1	8.8	20.6	-9.5	23.8
経常利益	0.0	-11.1	-31.3	-28.6	10.7	-12.9	-25.0	-11.7	-3.0	-28.5	9.5
商品・サービスの販売価格	15.8	11.1	6.2	4.8	7.1	3.2	4.2	8.9	5.9	4.8	14.3
原材料等の仕入れ価格	52.6	55.6	62.5	38.1	53.6	45.2	50.0	61.8	53.0	57.1	42.9
生産・販売などの設備	10.5	0.0	12.5	9.5	7.1	12.9	8.3	8.9	8.9	9.5	14.2
従業員数	73.7	72.2	50.0	52.3	67.9	42.0	45.8	53.0	41.2	28.6	14.3
うち臨時・パート	10.5	-11.1	6.3	-23.8	-10.7	0.0	-8.4	14.7	5.9	-4.8	4.8
県内需要(売上)	10.5	11.1	-12.5	-19.0	10.7	3.2	8.4	11.8	17.7	-9.5	19.0
県外需要(売上)	5.3	0.0	0.0	0.0	-3.6	0.0	0.0	0.0	2.9	9.5	0.0
海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0

■その他のサービス業BSI

時期	2024年		2025年				2026年				
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 (見通し)	7-9月 実績	10-12月 (見通し)
景況BSI	16.5	10.4	-9.7	8.4	16.0	3.8	7.0	1.2	16.5	2.4	0.0
売上高	21.2	13.0	-2.7	13.2	21.0	9.4	10.6	12.9	18.8	0.0	9.8
経常利益	11.8	3.9	-4.1	6.0	12.0	-1.0	9.4	-4.7	7.1	1.2	0.0
商品・サービスの販売価格	9.4	13.0	18.0	16.9	10.0	16.0	18.8	20.0	14.1	9.7	22.0
原材料等の仕入れ価格	31.8	42.9	38.9	44.6	38.0	36.8	44.7	58.8	52.9	41.4	43.9
生産・販売などの設備	12.9	11.7	11.1	10.9	11.0	8.5	8.2	11.7	11.7	13.5	15.9
従業員数	45.9	45.5	44.4	41.0	57.0	49.1	40.0	48.2	51.8	48.8	46.4
うち臨時・パート	9.4	-9.1	-9.7	6.1	7.0	1.9	9.4	2.3	2.4	6.1	3.7
県内需要(売上)	14.1	10.4	-9.7	2.4	22.0	7.6	9.4	14.1	47.0	0.0	9.8
県外需要(売上)	7.1	3.9	-1.4	3.7	5.0	0.9	3.5	4.7	14.1	1.2	1.2
海外需要(売上)	9.4	6.5	2.7	4.8	9.0	-4.7	8.2	4.7	8.2	1.2	1.2

4 調査概要

沖縄県内景況や、企業経営の実態と見通しを把握し、今後の各企業の経営の参考情報として提供することを目的とする。

（1）調査概要および調査対象について

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

調査概要

項 目	内 容
調査対象	県内に本社所在地がある 1500 企業。ただし調査対象有効企業数は、宛先不明として返送されてきた 6 企業を除いた 1494 企業。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収 ※一部インターネットによる回答・回収
調査期間	2026 年 9 月 1 日に調査票を発送し、10 月 6 日消印分までを集計
回収状況	有効回収数:404 通（有効回答率:27.0%）

弊社が取りまとめた、県内企業の各種 BSI (Business Survey Index) の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSI は景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSI がプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSI がマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

※ 本文中における、カッコ内（ ）の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野の BSI を示す。

※ 調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。

※ 複数回答の場合は、構成比（パーセント計算）の和が 100.0 を超えるものがある。

※ 統計表において n はサンプル数を表す。

(2) 回答企業属性

回答企業総数は 404 社。属性別の構成比は以下の通りとなっている。

【資本金】

	選択肢	n	%
1	1000万円未満	130	32.2
2	1000万円-5000万円未満	191	47.3
3	5000万円-1億円未満	41	10.1
4	1億円以上	27	6.7
	無回答	15	3.7
	全体	404	100.0

【従業員数】

	選択肢	n	%
1	10人未満	126	31.2
2	10-19人	70	17.3
3	20-49人	99	24.5
4	50-99人	47	11.6
5	100人以上	57	14.1
	無回答	5	1.2
	全体	404	100.0

【売上先】

	選択肢	n	%
1	県内売上50%以上	334	82.7
2	県外売上50%以上	60	14.9
3	海外売上20%以上	20	5.0

【業種】

	選択肢	n	%
1	農業、林業、漁業	1	0.2
2	建設業	76	18.8
3	製造業	42	10.4
4	情報通信業	15	3.7
5	卸売・小売業	71	17.6
6	不動産業	46	11.4
7	旅行・宿泊業	27	6.7
8	飲食サービス業	21	5.2
9	医療、福祉	21	5.2
10	その他のサービス業	82	20.3
11	その他	0	0.0
	無回答	3	0.7
	全体	404	100.0

【地域】

	選択肢	n	%
1	北部	37	9.2
2	中部	146	36.1
3	南部	69	17.1
4	那覇	119	29.5
5	離島	32	7.9
	無回答	1	0.2
	全体	404	100.0

—— 本資料のご利用に際して ——

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社 HP (<http://www.kaiho-ri.jp/>) においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・瀬川、当銘までご連絡ください。

TEL:098-987-5250 E-mail:sonshu_segawa@kaiho-ri.jp